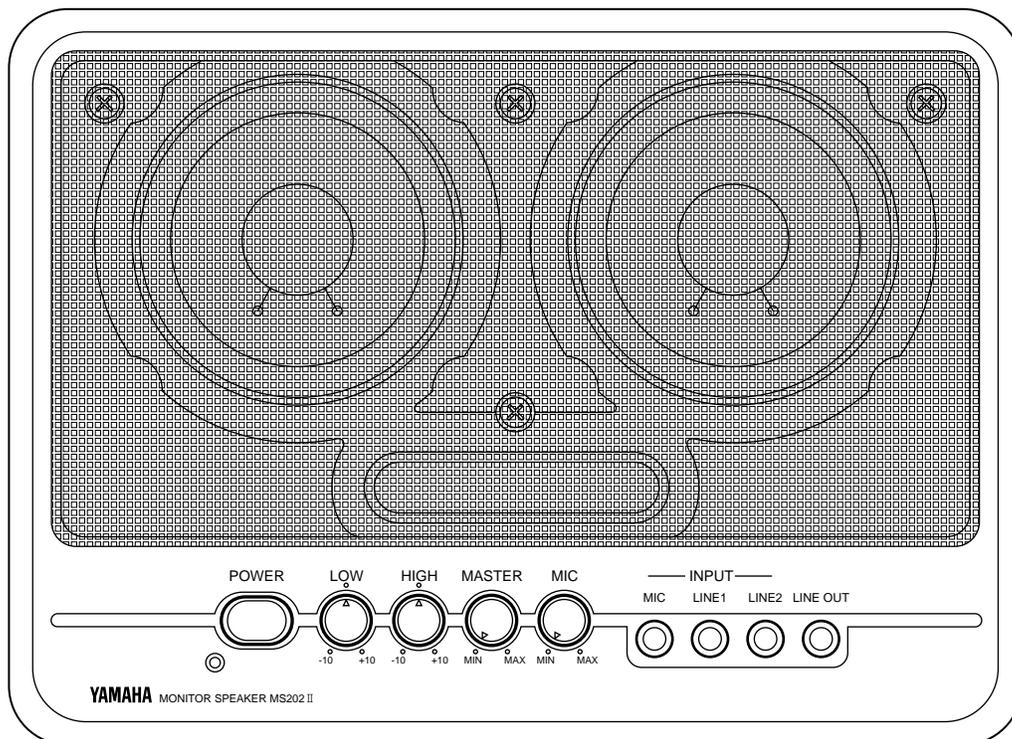




MONITOR SPEAKER

MS202 II

取扱説明書



このたびは、ヤマハ モニター・スピーカー MS202 IIをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MS202 IIは、コンパクトなバスレフ式キャビネットに4インチ・フルレンジスピーカーを採用し、その忠実な再現性はホームレコーディングやパーソナルなレッスンに最適です。また、防磁タイプですのでTVやビデオモニターの近くでも安心してお使いになれ、あらゆるAVシステムにその性能が発揮されます。

！安全上のご注意 安全にお使いいただくため

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保存してください。

絵表示 この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

-  : 注意(危険・警告を含む)を促す事項
-  : 決しておこなってはいけない禁止事項
-  : 必ずおこなっていただく強制事項



警告

この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

設置されるとき	使用中に異常が発生したとき
<div data-bbox="183 661 276 756" data-label="Image"> </div> <p>この機器はAC100V専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。この機器に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用はとくにご注意ください。</p> <p>電源コードの上に重い物を載せないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かずに重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることのないよう、十分にご確認ください。</p> <p>この機器の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。</p>	<div data-bbox="841 655 938 745" data-label="Image"> </div> <p>断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <div data-bbox="841 762 938 852" data-label="Image"> </div> <p>煙が出る、変なにおいや音がするなどの異常がみとめられたときや、内部に水などの異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p> <div data-bbox="841 869 938 959" data-label="Image"> </div> <p>プラグをコンセントから抜く</p> <div data-bbox="841 1041 938 1131" data-label="Image"> </div> <p>プラグをコンセントから抜く</p> <p>万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。</p>
ご使用になるとき	
<div data-bbox="183 1234 276 1325" data-label="Image"> </div> <p>雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。</p>	
<div data-bbox="183 1381 276 1472" data-label="Image"> </div> <p>落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。</p>	
<div data-bbox="183 1528 276 1619" data-label="Image"> </div> <p>この機器の裏ぶたやカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、販売店にご依頼ください。この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。</p>	



注意

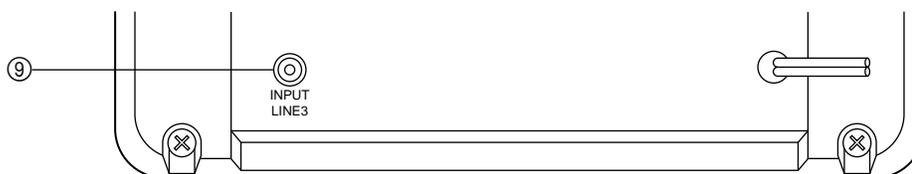
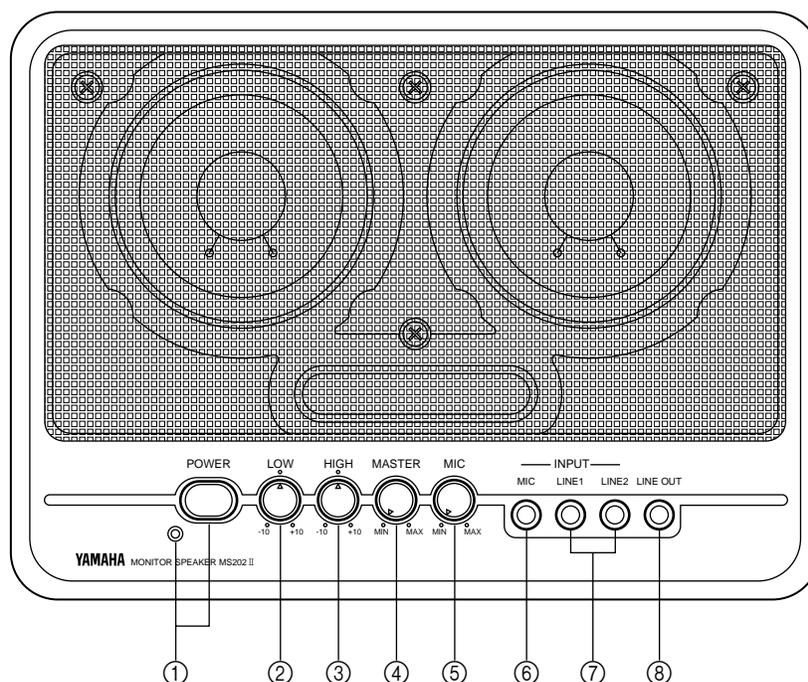
この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

設置されるとき	ご使用になるとき
 <p>火災・感電やけがなどを避けるため、次のような場所には置かないでください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所。 ・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。 ・窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。 ・湿気やほこりの多い場所。 <p>電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になることがあります。</p> <p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。必ずプラグを持ってください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となる場合があります。</p> <p>濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となる場合があります。</p>	 <p>楽器・オーディオ機器などを接続する場合は、接続するすべての機器の電源を切ってください。</p> <p>それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。</p> <p>電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。</p>
 <p>スピーカースタンドやスピーカースタンドを利用するときは、安全を十分に確認してください。</p>	 <p>スピーカーを音がひずんだ状態では、使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。</p>
 <p>機器を移動する場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。</p>	 <p>旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。</p>
	<h3>お手入れについて</h3>  <p>お手入れの際は、安全のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。</p>

目次

各部の名称と機能	2
接続例	3
仕様	4
ブロックダイアグラム	4
寸法図	4

各部の名称と機能



POWERスイッチ/インジケータ

スイッチを押すと電源が入り、インジケータが点灯します。もう一度押すと、電源が切れます。

LOW コントロール

右に回すと低音域が上がり、左に回すと下がります。

HIGHコントロール

右に回すと高音域が上がり、左に回すと下がります。

MASTERボリューム

全体(マイク及びライン入力)の音量レベル調整をします。

MICボリューム

MIC INPUTジャックに接続されたマイクの音量調整をします。マスターボリュームがゼロになっていると、マイクから入力された音は聞こえません。

MIC INPUT

モノラルのフォンジャックで、ダイナミックタイプのマイクを接続します。

LINE 1, 2 INPUT

(ホーム)キーボード等電子楽器は、直接LINE INPUT端子に接続することができます。

LINE OUT

録音のためにカセットデッキやDATレコーダを接続したり、もう一台のMS202 IIをパラレル接続するためのモノラルフォンジャックです。MIC、LINE 1、LINE 2、LINE 3からの入力信号がミックスされて、この端子から出力されます。出力レベルは一定で、VOLUMEコントロールでは調整できません。

INPUT LINE 3

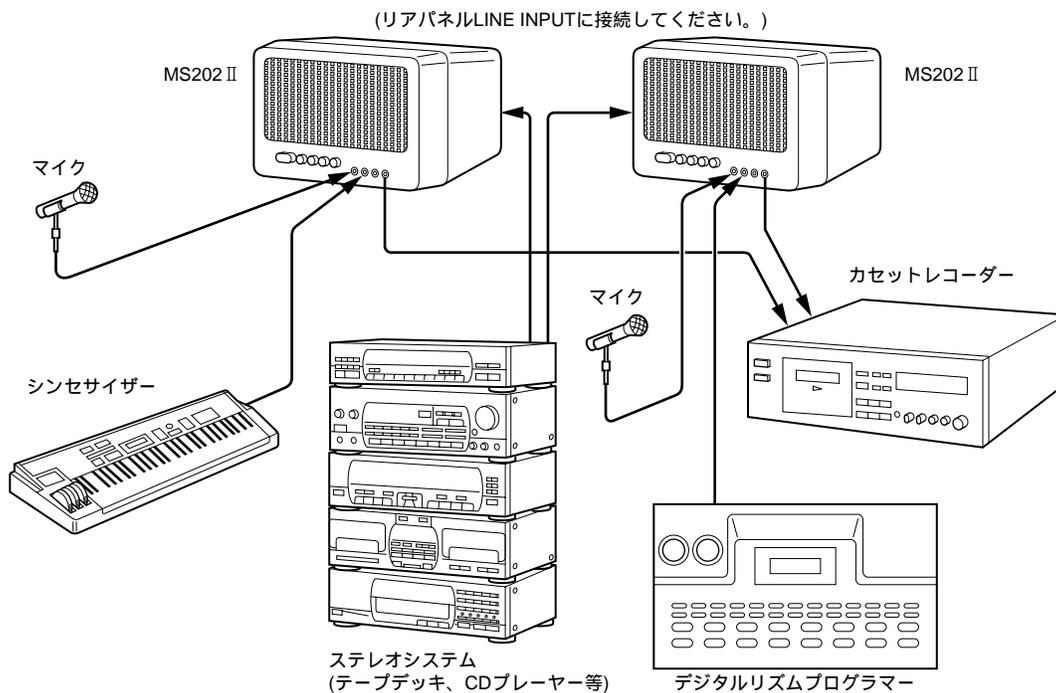
標準タイプのオーディオ装置であれば、その、OUTPUTから本機のRCAピンジャックへ接続することができます。

接続例

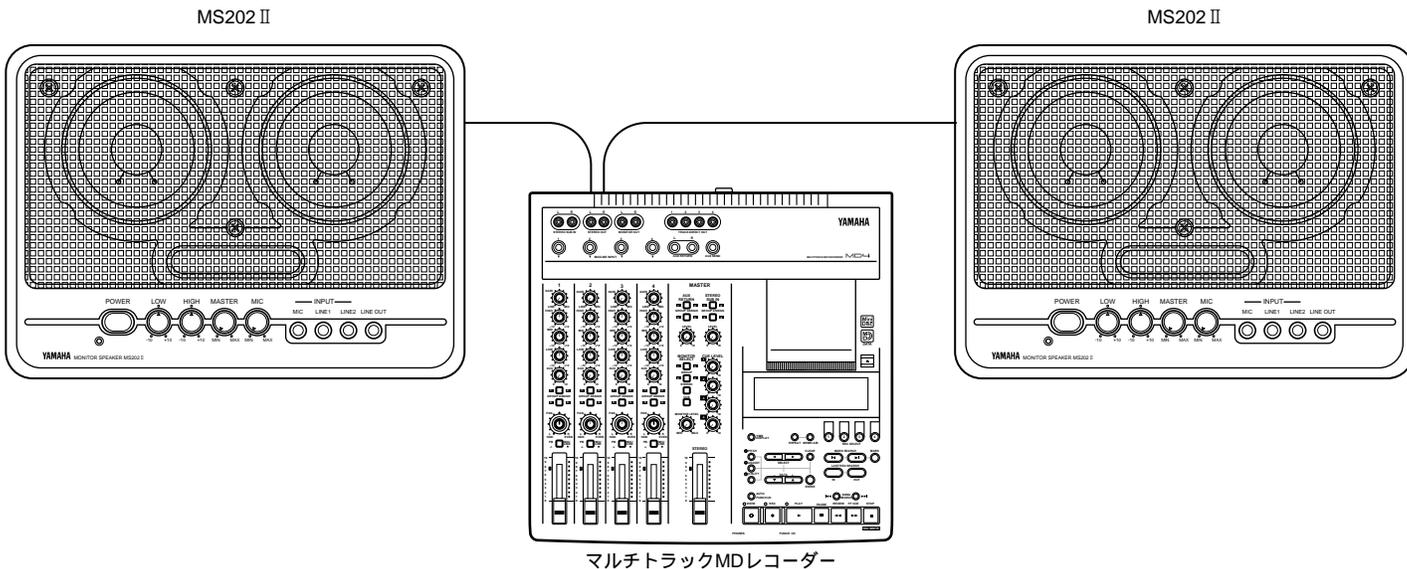
MS202 II は、幅広い用途をその特長としており、使用システムの種類、必要性によって、接続方法が異なります。以下に、その一例を掲げます。

2台のMS202 II を、ステレオモニターシステムでのアンプ代わりに使用できます。フロントパネルのLINE INPUT にマイクと楽器を接続すれば、演奏しながら歌うことができます。また、電子キーボードやリズムボックスを直接LINE INPUT に接続し、LINE OUT ジャックをカセットレコーダーのINPUT に差し込むと、演奏や歌を録音することができます。

注：システムコンポーネントの電源をオン/オフする場合は必ずMS202 II 本機のボリュームをしぼった状態で行なって下さい。



ヤマハ マルチトラックMDレコーダーのモニター出力を、MS202 II のLINE 2 INPUT に接続すると、マルチトラック・カセットレコーダーのモニタリングができます。



仕様

総合仕様

形式 パスレフ型 パワード・スピーカー
 再生周波数帯域 70 Hz 18 kHz
 (LOWおよびHIGHコントロール :
 センター)
 最大出力音圧レベル 103 dB SPL (20W, 1m on axis)
 最大外形寸法 (W x H x D) 292 x 214 x 192 mm
 重量 3.9 kg
 スピーカー部
 スピーカーユニット JA1060 (10 cm, Cone) x 2
 出力音圧レベル 90 dB SPL (1W, 1m on axis)
 公称インピーダンス 4 (8 x 2)

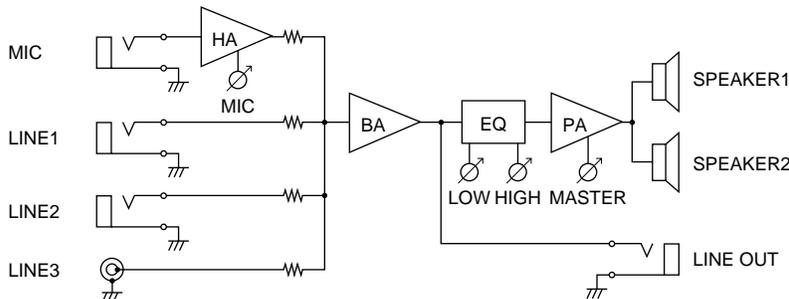
アンプ部

定格出力 20 W @ 1 kHz, THD=0.5%, RL=4
 周波数帯域 40 Hz 20 kHz
 入力感度 / インピーダンス
 / 端子 MIC : -50 dB/10 k /フォンジャック
 LINE 1 : -10 dB/10 k /フォンジャック
 LINE 2 : -10 dB/10 k /フォンジャック
 LINE 3 : -10 dB/10 k /ピンジャック
 LINE OUT : -10 dB/600 /フォンジャック
 ハム & ノイズ -73 dB (VOLUMEコントロール :
 最小, fc=12.7 kHz, 6 dB/oct LPF)
 コントロール MASTER, MIC
 LOW : ±10 dB 80 Hz
 HIGH : ±10 dB 10 kHz
 POWER : "ON/OFF"
 電源 AC 100 V, 50/60 Hz
 消費電力 25 W

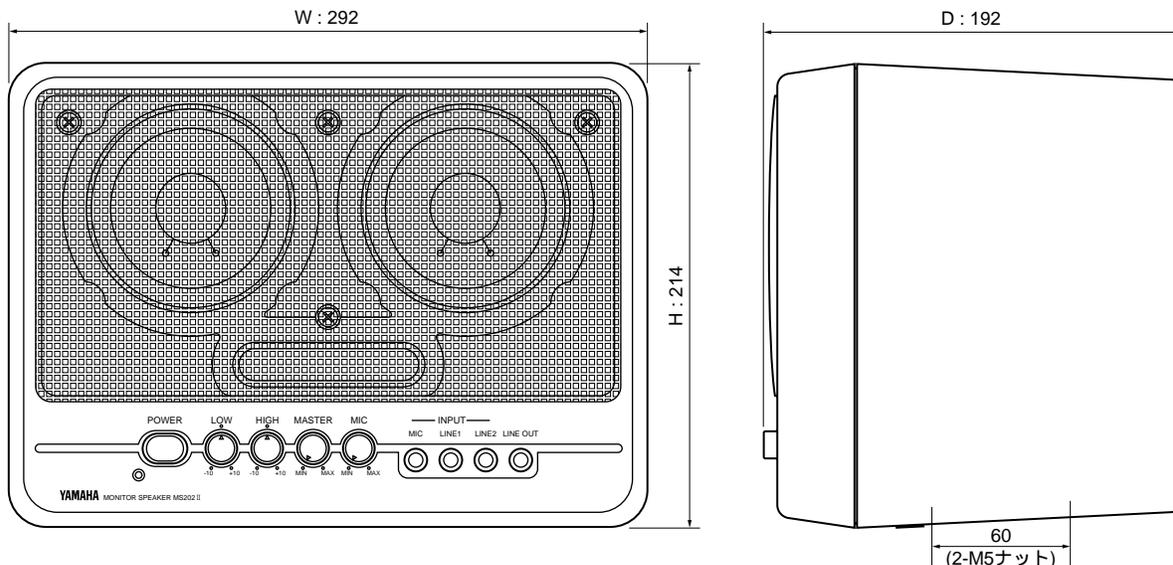
0 dB = 0.775 Vrms

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

ブロックダイアグラム



寸法図



単位 : mm

サービスについて

保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡ししていますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店にお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

損害に対する責任

この商品（搭載プログラムを含む）の使用または使用不能により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

調整・故障の修理

「故障かな？」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理にさいしては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのもか保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造打切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品にかんするご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へおよせください。

お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-5085 (電話受付 = 祝祭日を除く月～金 / 11:00～19:00)

E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

営業窓口

PA営業部

北海道営業所	☎ 011-512-6106	〒064-0810	札幌市中央区南十条西1-1-50
仙台営業所	☎ 022-222-6214	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10
東京事業所	☎ 03-5488-5480	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11
名古屋営業所	☎ 052-232-5744	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28
大阪事業所	☎ 06-6647-8359	〒556-0011	大阪市浪速区難波中1-13-17
九州営業所	☎ 092-412-5556	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
PA営業課	☎ 03-5488-5472	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11
PA推進室	☎ 053-460-2455	〒430-8650	浜松市中沢町10-1

ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預かり窓口

北海道サービスステーション	☎ 011-512-6108	〒064-8543	札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
仙台サービスステーション	☎ 022-236-0249	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F
首都圏サービスセンター	☎ 03-5762-2121	〒143-0006	東京都大田区平和島2-1-1 京阪トラックターミナル14号棟 A-5F
浜松サービスステーション	☎ 053-465-6711	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階
名古屋サービスセンター	☎ 052-652-2230	〒454-0058	名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター 3F
大阪サービスセンター	☎ 06-6877-5262	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内
四国サービスステーション	☎ 087-822-3045	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
広島サービスステーション	☎ 082-874-3787	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14
九州サービスステーション	☎ 092-472-2134	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4
本社/CSセンター	☎ 053-465-1158	〒435-0016	浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階

所在地・電話番号などは変更されることがあります。
2001年5月現在

持込修理

保証書

品名	MONITOR SPEAKER	
品番	MS202 II	
製造番号		
保証期間	本体	お買上げの日から1年間
お買上げ日	年 月 日	
お客様	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	<input type="text"/>	<input type="text"/>
	ご住所	
	お名前	様
	電話	()

本書は、本書記載内容で無料修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
(詳細は下項をご覧ください)

販売店	店名	<input type="text"/>
	所在地	<input type="text"/>
	電話	()

ヤマハ株式会社 PA・DMI事業部

〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10番1号
TEL 053-460-2455

ご販売店様へ 印欄は必ずご記入してお渡しく下さい。

無償修理規定

1. 正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、お買上げの販売店が無料修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、最寄りの ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - (6) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。

5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

修理(サービス)メモ

年月日	内容	担当者	印
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

* この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問合わせください。

ヤマハ株式会社の連絡窓口その他につきましては、本取扱説明書内側をご参照下さい。

保証書

このページは保証書になっています。ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめのうえ、大切に保管してください。
保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、本機の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。